

資産と費用の区分誤り

対象受検機関	検出事項	是正を求める事項								
芦間高等学校	<p>令和4年度の財務諸表（貸借対照表）において、建設仮勘定に費用として計上すべきものが含まれていた。</p> <table border="1" data-bbox="492 506 1555 663"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>契約名称</th> <th>金額</th> <th>費用計上すべき金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度</td> <td>校舎棟生徒用トイレ改修工事</td> <td>2,250,600円</td> <td>720,549円</td> </tr> </tbody> </table>	年度	契約名称	金額	費用計上すべき金額	令和4年度	校舎棟生徒用トイレ改修工事	2,250,600円	720,549円	<p>検出事項について、速やかに是正措置を講じるとともに、原因を確認し、所属のチェック体制を強化する等、再発防止に向け必要な措置を講じられたい。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【建設仮勘定取扱要領】 第4条 建設仮勘定は、公有財産要領第4条及び第5条に規定する取得年月日又は異動年月日をもって精算しなければならない。 2 前項に規定する精算と併せて、本資産勘定の額と同額の財産を公有財産台帳に登録しなければならない。</p> </div> <p>(参考) 建設仮勘定の精算処理について 「新公会計制度マニュアル」第一章 新公会計制度の概要、2 新公会計制度特有の会計処理、5 建設仮勘定 より</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 建設仮勘定は、建設中の固定資産の取得に要した経費について、その施設等が完成し、引き渡しを受けるまでの間、又は供用が開始されるまでの間において一時的にプールするための勘定です。新規取得、改修にかかわらず、その資産価額の上昇を伴う工事等で公有財産台帳等に登録されるものが対象となります。 ○ 工事が完成して、供用開始となった時点で固定資産台帳（公有財産システム）への記録を行いますが、併せて、財務会計システムの【建設仮勘定精算】画面から建物、工作物など整理すべき勘定への精算処理を行うことで、本勘定への振替が行われます。 ○ 一部、または全部が費用であるにもかかわらず建設仮勘定に計上している場合、精算登録において費用へ変更することはできませんので、建設仮勘定に計上している金額を【複式情報訂正】画面で修正した後に、改めて精算登録を行います。
年度	契約名称	金額	費用計上すべき金額							
令和4年度	校舎棟生徒用トイレ改修工事	2,250,600円	720,549円							
措置の内容										
<p>過年度の建設仮勘定精算については、所属では行えないため会計局会計指導課に修正を依頼し本資産勘定への精算処理を行った。 また、今回は費用に係るものだったので公有財産台帳は記載済である。 検出事項の原因は、建設仮勘定の精算処理について、担当者が正しく理解していなかったことにある。 再発防止に向けて、関係職員に対し建設仮勘定の精算処理について適切に実施するよう周知徹底するとともに、SSC等で未精算案件の確認を定期的に行うことによりチェック体制を強化した。 今後は、大阪府財務諸表作成基準等に基づき、適正な事務処理を行う。</p>										

監査（検査）実施年月日（委員：令和一年一月一日、事務局：令和5年10月2日から令和6年1月31日まで）